

BS-DICOM 検像システム

BS-DICOM 検像システムは、CT やMRI などの検査装置と PACS（医用画像情報システム）の間に設置し、病院内で発生する画像を取り扱うワークフローにおいて、常に整合性のとれた矛盾のない検査データ・画像を共有、診断効率を高める検像システム ワークステーションである。

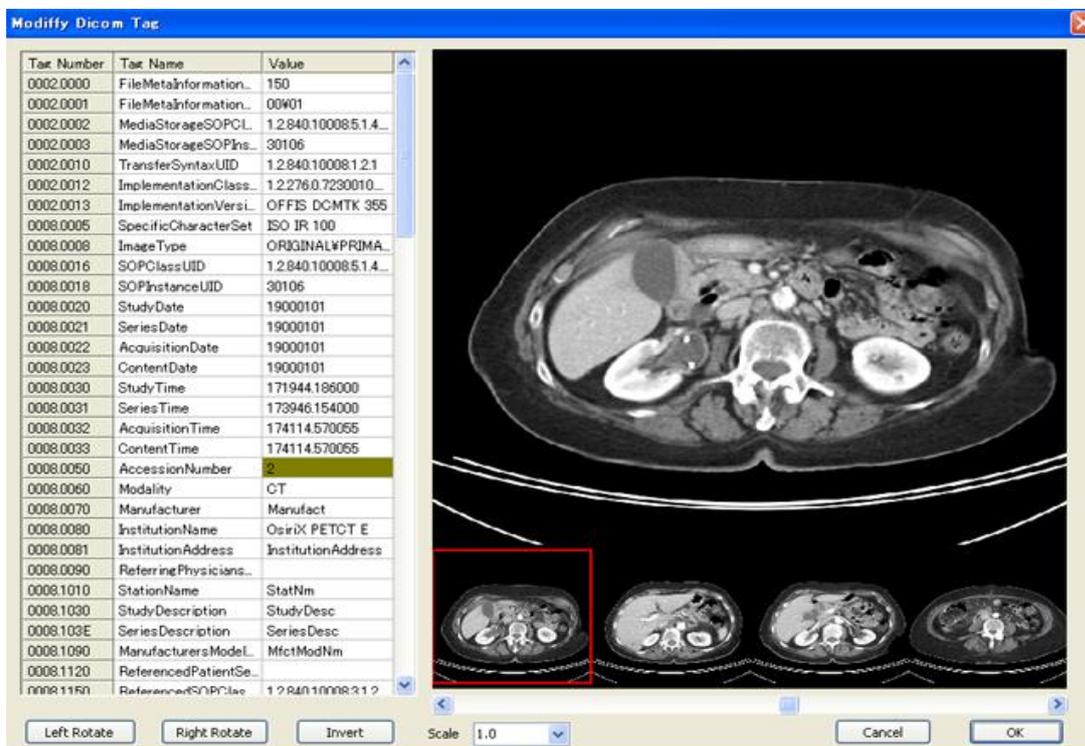
主な機能

MWM 機能

- MWM サーバーで保管されている患者情報や検査情報を検索、照合し、DICOM タグに反映させることができますので、入力の手間を省き、手入力の実ミスを防ぐことができます。

DICOM タグ変更機能

- DICOM タグおよび DICOM に準拠していないプライベートタグを自動またはマニュアルで変更・編集可能
- 定型テキストへの置き換えもしくは、プレフィックス（接頭語）、サフィックス（接尾語）の付加により、DICOM タグの作成・変更が可能
- アクセション番号を用いて、検査 UID（固有 ID）を自動的に同一化し、PACS 上でも同一検査として扱うことが可能
- タグの改訂履歴をリスト表示するので、いつ、誰が編集を行ったのか容易に確認できます。



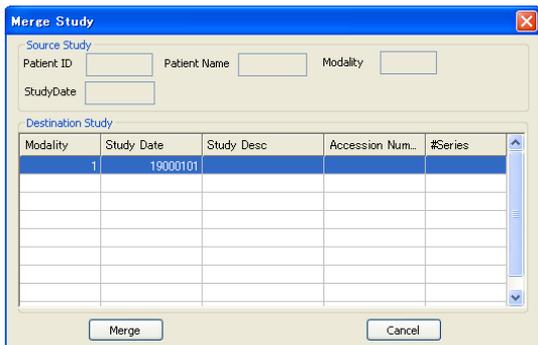
DICOM Tag 編集

画像操作機能

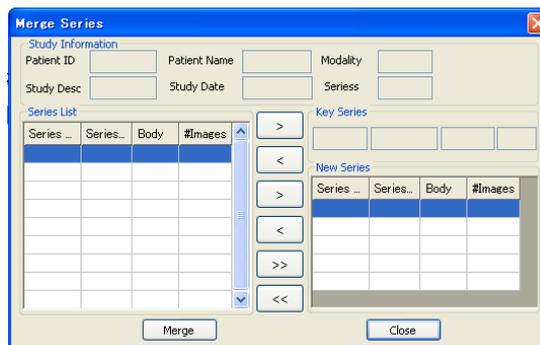
- トリミングや反転、調整などの画像編集機能や、テキスト、アノテーション（注釈）機能などができ、PACS への転送前に行う画像処理、編集作業を簡素化し、高い効率性を実現
- 非 DICOM 画像（BMP、JPEG、TIFF）をインポートし DICOM 画像に変換、保存、転送ことが可能

画像の分割(スプリット)/統合(マージ)/並べ替え

- 検査/シリーズ/イメージのレベルでの分割（スプリット）、統合（マージ）が可能です。また、シリーズ/イメージレベルでの画像の並び順変更、イメージ番号の振り直しも可能です。



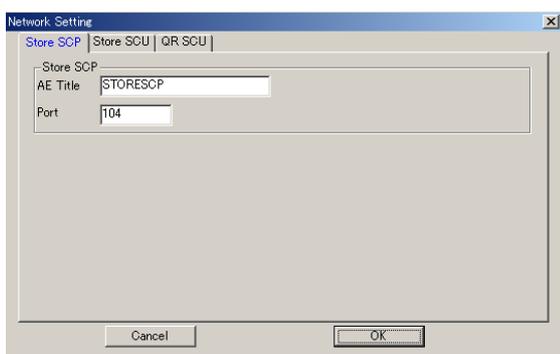
検査マージ



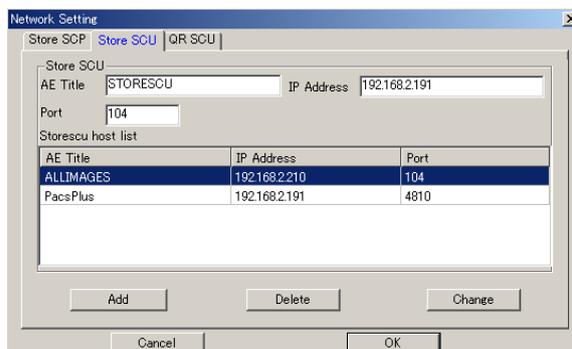
シリーズマージ

自動転送機能

- 画像を PACS サーバやワークステーション、プリンタなど複数の送信先に自動転送し、転送完了した画像は自動的に削除
- AE タイトル、モダリティの種類、検査部位などのあらゆる DICOM タグを用いて、複数のルール、送信先、転送時間を設定することが可能。自動転送ルールはニーズに合わせてフレキシブルに設定可能
- 転送状況を監視するルーチング ジョブ管理機能により、画像転送が失敗した際、自動的に再送を実施



StoreScp 設定



StoreScu 設定

施設様に合わせた柔軟なカスタマイズ

- 施設様に必要な機能を組み合わせてカスタマイズすることで、スリムで無駄のない運用が可能になります。



株式会社ビットストロング 画像営業部

e-Mail : imaging@bitstrong.com

TEL : 03-5822-5344 FAX : 03-5687-8355

URL : <http://www.bitstrong.com> (システムサイト)

: <http://www.bitstrong.net> (製品販売サイト)

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 3-28 星野ビル 6 階